

【2023年度 高大連携委員会 事業計画】

委員長校 : 関西国際大学

副委員長校: 神戸親和大学

委員校: 関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 計18校

<目的>

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題②】県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

上記の体制の構築並びに、必要な新規のプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

<内容>

取組課題②に対する「個別取組」は、下記の通り。

1. 大学と高等学校の意見交換会の実施

教育委員会等と連携して、兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行う。

2. 加盟校の魅力を情報発信

加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。

生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。

上記の取組について、運営体制の構築と推進は、中長期計画Ⅱ期5ヵ年において段階的に取り組む。期中において新規事業やプロジェクト企画の必要性がある場合は、本委員会にて検討して事業推進を行う。

<期待される効果>

1. 大学と高等学校の意見交換会の実施

兵庫県立高等学校と設置した意見交換の場「ひょうご高校大学コンソーシアム」を継続的に開催していくことにより、県下大学と高校の高大連携をめぐる多くの課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進する。大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークを構築が期待できる。

2. 加盟校の魅力を情報発信

高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と大学で主体的に学び続ける意欲を高める効果が期待できる。

| 課題② 県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続 | | 予算額 |
|-----------------------------|---------------------------------------|----------|
| 取組1 | 大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」 | 200,000円 |
| 取組2 | 加盟校の魅力を情報発信 | 300,000円 |

【2023年度 高大連携委員会 事業計画(②取組1)】

| | |
|------------|-----------------|
| 【②取組1】達成目標 | 各年参加校数20校以上 |
| 【②取組1】活動指標 | 意見交換会等の実施/年1回以上 |

| | | | | |
|---------------------|---|----|----|----|
| 課題② | 県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続 | | | |
| 達成目標【②取組1】 | 各年参加校数20校以上 | | | |
| 課題を解決する取組概要【②取組1】 | 大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」 | | | |
| 活動指標【②取組1】 | 意見交換会等の実施/年1回以上 | | | |
| 内容 (計画) | <p>「ひょうご高校大学コンソーシアム」の開催 兵庫県下の県下高等学校・教育委員会・加盟校との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県下大学と高校の高大連携をめぐる具体的な課題を共有し、県内大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進する。 2016年から実施している本取組を継続開催することで、大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築を図る。 | | | |
| 新しい試み等 (事業計画に記載) | | | | |
| 事業収支 | 収入 | 支出 | 収支 | 備考 |
| | 200,000 | | | |

| | | | | |
|------|---------|--|--------|--|
| 自己評価 | 【対到達目標】 | | 【対継続性】 | |
| | | | | |

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

| | |
|--------------------------------|--|
| 理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映) | |
|--------------------------------|--|

【2023年度 高大連携委員会 事業計画(②取組2)】

| | |
|------------|---|
| 【②取組2】達成目標 | 各年情報提供先数 高等学校等200か所以上 |
| 【②取組2】活動指標 | 大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上 |

| | | | | |
|---------------------|--|----|----|----|
| 課題② | 県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続 | | | |
| 達成目標【②取組2】 | 各年情報提供先数 高等学校等200か所以上 | | | |
| 課題を解決する取組概要【②取組2】 | 加盟校の魅力を情報発信 | | | |
| 活動指標【②取組2】 | 大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上 | | | |
| 内容 (計画) | <p>県内大学等の情報提供の実施 高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と、主体的に学び続ける意欲を高めるべく、アンケートの実施や、大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページに「オープンキャンパス」「まなび発見マップ」「探究学習」「学園祭」等の情報を掲出する。</p> | | | |
| 新しい試み等 (事業計画に記載) | 高大連携に関する情報共有の一環として、ホームページでの掲出方法やデザインを改善し、生徒が加盟校の情報をより分かりやすく得られるようにする。 | | | |
| 事業収支 | 収入 | 支出 | 収支 | 備考 |
| | 300,000 | | | |

| | | | | |
|------|---------|--|--------|--|
| 自己評価 | 【対到達目標】 | | 【対継続性】 | |
| | | | | |

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
 3:当初計画を達成
 2:当初計画をやや下回った
 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
 3:本プログラムは継続しても良い
 2:本プログラムの継続には改善が必要
 1:本プログラムは中止すべき

| | |
|----------------------------|--|
| 理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映) | |
|----------------------------|--|

2023年度 高大連携委員会 事業予算

(単位:円)

| | 予算 | 各プログラム 予算 | | | | 委員会 予算 | |
|----|---------|---------------------------------------|---------|-------------|---------|---------|----------------------------|
| | | 取組1 | | 取組2 | | | |
| | | 大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」 | | 加盟校の魅力を情報発信 | | 内訳 | 予算額 |
| | | 内訳 | 予算額 | 内訳 | 予算額 | | |
| 収入 | 会費収入 | 600,000 | | 200,000 | | 300,000 | 100,000 |
| | 助成事業収入 | | | | | | |
| | 受託事業収入 | | | | | | |
| | プログラム収入 | | | | | | |
| | 雑収入 | | | | | | |
| | 戻入金 | | | | | | |
| | 計 | 600,000 | | 200,000 | | 300,000 | 100,000 |
| 支出 | 会議費 | 10,000 | | | | | お茶代等 10,000 |
| | 旅費交通費 | 30,000 | 交通費 | 20,000 | | | 旅費交通費 10,000 |
| | 通信運搬費 | 100,000 | | | 通信費等 | 90,000 | 通信運搬費等 10,000 |
| | 消耗品費 | 15,000 | 消耗品 | 5,000 | | | 消耗品 10,000 |
| | 新聞図書費 | 10,000 | | | | | 参考図書 10,000 |
| | 印刷製本費 | 35,000 | | | チラシ等 | 35,000 | |
| | 光熱水料費 | 0 | | | | | |
| | 賃借料 | 35,000 | 会場費 | 35,000 | | | |
| | 保険料 | 0 | | | | | |
| | 謝金 | 315,000 | 謝金 | 140,000 | 謝金 | 175,000 | |
| | 租税公課 | 0 | | | | | |
| | 支払手数料 | 10,000 | | | | | 振込手数料 10,000 |
| | 諸会費 | 10,000 | | | | | フォーラム等参加費 10,000 |
| | 委託費 | 30,000 | | | | | 各プログラムHPIに係る 予備費 30,000 |
| | 人件費 | 0 | | | | | |
| | 接待交際費 | 0 | | | | | |
| | 支払支援金 | 0 | | | | | |
| 雑費 | 0 | | | | | | |
| 計 | 600,000 | | 200,000 | | 300,000 | 100,000 | |

| | |
|-------|--|
| 収入－支出 | |
|-------|--|